

七里地区
社会福祉協議会

【発行】
会長 富張 道雄

【編集】
広報部

〒337-0014
さいたま市見沼区大谷2022-1
(敬寿園七里ホーム内)
電話・FAX 048-687-9997
<http://7sato.sakura.ne.jp/>
E-mail : nanasato-shakyo@nifty.com

いなほ



誰もが安心して暮らせる街 ななさと

第 63 号

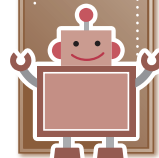


この講座は、夏休み中の生徒間の交流促進と学校の宿題解決の一部になることから大変人気があります。このため、抽選から漏れてしまう子どももたくさんいます。

毎年七里公民館と共催で「夏休み子ども講座」を開催しています。



「情報教室」～ロボットを動かしてみよう～



七月二十九日(月)

二十三名参加

今年もNPO法人地域人ネットワークの皆さん十二名の協力により、ロボットを動かす体験「情報教室」が開催されました。

二チームに分かれて、高学年は黒い直線や曲線が書かれた紙をつないでロボット(車)が走るコース作り、低学年はロボット操作の習得から始まりました。

ロボットは、黒い線の上を走ります。コースの途中には、サッカーゴールとバスケットゴールの形をした障害物遮断機があり、サッカーゴールにシュートし、バスケットゴールに投げ込まないとバーが開かないため、次に進むことができません。チームの皆で協力しながら自分たちで作ったコースの上を早く上手にロボットを走らせませす。

車型ロボットには、黒いライン上を自動走行する「ライントレース機能」



「障害物回避機能」があり障害物を検知すると走行を停止し、障害物を取り除くと再び走行を続けるという2つの機能を事前にプログラミングに組み込んであります。

その後、チーム対戦を行い、どちらが早くゴール出来るかを競っていました。

その他、空中を自在に飛び回るボールや恐竜のロボットを自由に動かして子ども達は歓声を上げながら楽しんでいました。

どのようにロボットが動くのか、実験をすることによって、その性質や仕組みなど情報の伝達について色々なことを学びました。

高学年と低学年の混合チームにより、子どもごうしの連帯意識を養う貴重な体験となりました。

遊びながら学べる楽しい体験教室でした。

広報部 井上麻里子 高橋 満

白倉 由子 田島 一枝



上手に走るかな!!



真剣な眼差し

絵画教室「夏休みの絵を描こう!」



八月二十日(火)

十六名参加

小一・二年生

二十一日(水)

十八名参加

七里公民館で新井壽代先生の絵画教室が開催されました。

まず、始めに先生から「楽しく絵を描きましょう」と描く時に注意すべきお話がありました。

テーマを決めて描くこと
好きな物・得意な物は何?
何を伝えたいか→大きく、はっきりと

自分オリジナルの表現 色・形
下描き、下絵を大切に
色の計画。何処にどんな色

色の塗り方
薄い淡い色→濃い色
広い所→細かい所
仕上げは丁寧に

画用紙の白を白で残さない
道具の使い方



先生は一度も座ることなく、子ども達の周りをまわって、指導してください、子ども達はそれぞれ家族との夏休みの思い出の絵(動物・花・山・昆虫・花火)を描いていました。

仕上がっていない作品には、子ども達一人ひとりに丁寧に仕上げるポイントをコメントしていただきました。

とても親切丁寧に指導していただき子ども達も楽しい時間を過ごすことが出来ました。

今年の夏休み思い出の作品が出来ました。

広報部 今村 幸治 越智美和子

春日 信之 屋間 英雄





「昆虫の不思議な世界」



八月三日(金) 十八名参加

埼玉県昆虫談話会会員の萩原昇先生と草間岳彦先生を講師にお迎えして、七里公民館で昆虫のおはなしが開催されました。

前半は「セミっておもしろい」と題された萩原先生のお話。セミの種類や鳴き声、セミが声を出す仕組みをクイズ形式で学び、埼玉県内では、どんなセミがどういふ場所でも何月頃見られるかという説明がありました。

また、セミとは違った姿をしているが、よく見かけるカメムシや水の中にいるアメンボもセミの仲間であるとのことで、子ども達は興味深く耳を傾けていました。主に東南アジア地域から輸入される荷物と一緒に日本に入ってきた昆虫が、温暖化の進んだ日本でそのまま生息域を広げているというお話もあり、温暖化を進めない努力をしていきたいと思います。

後半はスズメバチハンターでもあり養蜂家でもいらっしゃる草間先生にバトタッチして、ハチの生態や巣の仕組み、スズメバチを飼育観察されたときのことなど画像をもとに臨場感あふれる経験談をお聞きしました。

スズメバチに刺されて大きく腫れた先生の手や唇の写真を見て悲鳴を上げる子もいました。

会場には貴重な昆虫の標本がたくさん並べられ、子ども達は目を輝かせて見入っていました。

ハチの巣に触れたり、二日前に採ってまだ乾ききっていないというスズメバチの質感に驚いたり、夏休みの貴重な経験になったことと思います。

広報部 山岸 郁子 南雲 博晶
丸山 深雪 村田 道子



令和六年度敬老会

今年、敬老祝賀会を楽しみにされていた方も多かったことと思いますが、コロナ感染予防の観点から、残念ながら今年も各自治会においては、対象者の健康を考慮して、会食等を中止し、記念品配布のみの自治会が多くなりました。

敬老会は、長寿を祝い、地域における絆を実感する機会として、また地域住民が敬老の念を新たにする機会として定着してきましたが、大変残念に思います。

しかし、感染対策をしっかりと行って祝賀会や式典を行った自治会もありました。

今後、益々高齢者が増加してまいります。地域の交流を更に深め、皆様が健康で生き生きとして過ごしていけるよう社協としても様々な工夫をしてまいりますので、ご指導・ご協力よろしくをお願いいたします。



地区別敬老対象者数

七里地区の七五歳以上の敬老対象者は、次のとおりです。

- ◇膝子 一三三名 (一一一名)
- ◇大谷 一七七九名 (一七五四名)
- ◇蓮沼 一四九七名 (一四三三名)
- ◇風渡野 七八五名 (七五六名)
- ◇東門前 六三八名 (六一七名)
- ◇東宮下 一〇〇九名 (九八九名)
- ◇新堤 七二七名 (七〇八名)
- 合計 六、五八八名 (六、三七八名)

()内は昨年の対象者数
各自治会に、敬老事業に対する補助金が、さいたま市及び七里地区社協から交付されています。



風渡野第一自治会



けんちん汁を振る舞う

一〇〇歳以上の方
一〇五歳 蓮沼・風渡野
一〇二歳 大谷・蓮沼・東門前
一〇一歳 蓮沼・東門前
一〇〇歳 大谷・蓮沼④
風渡野②・東門前
の合わせて十五名です。男性一名・女性十四名です。
いつまでもお元気で過ごして下さい。



会長 鶴崎 敏康

令和六年度の蓮沼自治会敬老会は、敬老対象者への「お祝い品」をお届けすることとし、九月十五日、十六日の両日で実施しました。当自治会では、対象者が一二七二人と大変多くの方々が七五歳以上となりました。そのため自治会としては、総力をあげて実施し無事終了することができました。

対象者のうち自治会員の方は、自治会役員(組長、班長で約七〇人ほど)が自宅にお届けし、非自治会員の方へ

は、民生委員(六人)がお届けに上がりました。また、一〇〇歳を超える対象者(七人)には、自治会本部役員(会長・副会長・事務局長)が直接、自治会からの「特別祝い金」をお届けしました。

従来、敬老の日に「蓮沼自治会敬老者祝賀式典」を大々的に開催し、その後第二部として「アトラクション」を企画し、多くの参加者で様々な芸能等の披露が行われ、敬老対象者には食事を伴う懇談会を含めほぼ一日楽しんでいただけてきました。しかし敬老会を企画する時期の七月時点で、コロナの急速な増加傾向が見られ、やむなく式典等を中止することになりました。

これからも当自治会では、対象者はさらに増えていくと思われませんが、そうした高齢者に対する援助の手を、引き続き強化していくことを改めて確認する「敬老の日」となりました。





今年度の当自治会の敬老会は、対象者の皆様の健康を第一に考え九月十四日(土)に記念品の配布のみ実施いたしました。今年度の対象者は百三十三名でしたが、膝子自治会の各班長と役員が協力して対象者の方のお宅に伺い、直接記念品のハンバーグ三種セットをお渡しいたしました。

今年度もお祝いの会の開催は見送る形になってしまいましたが、皆様のごからの益々のご健康とご長寿をお祈りいたします。



会長 平林 俊之



敬老祝賀会は開催せず、個別訪問にて記念品(高千穂牧場のハンバーグ三種セット)をお渡ししました。

趣味のお話しをしてくださる方、笑顔で「ありがとう」のお言葉をいただき素敵なおひと時でした。

皆様には、いつまでも楽しい日々をお過ごしいただけますよう心よりお祈り申し上げます。



会長 横手 澄子



十月一日(火) 十六時三十分から十七時三十分までの一時間、コロナ禍のため中断していましたが「赤い羽根街頭募金」活動を行いました。

当日は、新しく橋梁駅となった七里駅コンコースで会長をはじめとし総務部の総勢八名が大きな声で募金の呼びかけを行いました。

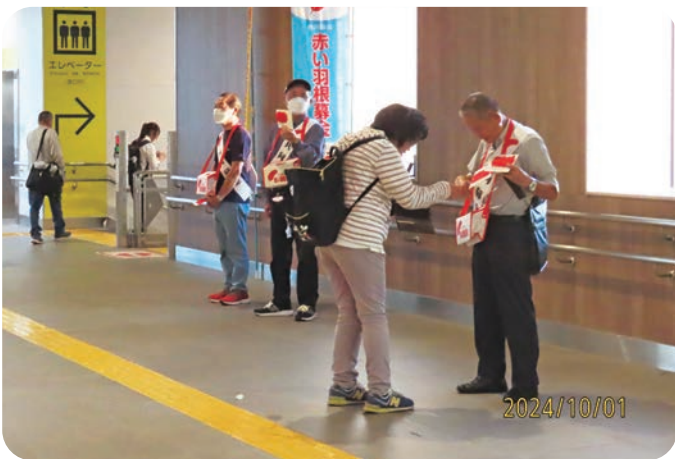
天候が不順でしたが、新しくなった駅のおかげで雨の心配もなく活動ができました。

若い方々の多い時間帯でしたので中学生や高校生がにこやかに募金してくださいました。

通勤時間帯前のわずかな時間でしたが、こうした社会福祉協議会の活動をご理解いただけた方も多くいたのではないかと思います。

広報部副部長 田村 昭彦

募金額 四、一一八円



第三十回 ふれあいサロン
「加茂下穂と仲間たち」
 トリノ・音楽アンサンブルはラルートの音色

七里コミュニティセンターにおいて

一八七名参加

お彼岸が過ぎて暑さがひと段落し、この日は曇り時々雨、半袖では少し肌寒いような日でしたが、大勢の方々が来場してくれました。



七里ふれあいサロンではお馴染みの加茂下先生のユニフォームあふれるトークに、参加者の皆さんが微笑みながら、素晴らしい歌声と演奏を楽しむ会になりました。

第一部

日本の四季をメドレーで、

ふるさと・春の小川・おぼろ月夜・鯉のぼり・茶摘み・夏は来ぬ・われは海の子・村祭り・紅葉・冬景色・雪と春・夏・秋・冬の順に四季の歌全十一曲の歌をメドレーで、最後はまた最初のふるさとに戻って締めくくられました。

美空ひばり名曲、

美空ひばりの代表的な二曲「愛燦々」と「川の流れるように」を、たっぷり聞かせていただきました。

ディズニー、

『メリー・ポピンズ』より「スパーカリフラジリスティックエクスピアドーシャス」では、最後に向かってどんどんテンポが速くなり、早口言葉のように盛って盛り上げていく楽しい一曲でした。

フルートの調べ、

『サウンドオブミュージック』

メドレー

有名な『サウンドオブミュージック』の歌をフルートのメドレーで楽しみました。

第一部の最後には、今年八月にフランスの俳優アラン・ドロンが亡くなり、また今年フランスでオリンピックが開催されたことを記念して、ピアノとフルートによる「愛の賛歌」がアンコール曲として演奏されました。

第三部

カンツォーネ・フェスタ、

誰でも知っているイタリアの演歌「サンタ・ルチア」「ヴォラーレ」「フニクリ・フニクラ」の三曲を、曲にまつわる面白いエピソードを紹介しながら楽しみました。

オラトリオ、

『メサイヤ』ハレルヤ

作曲者ヘンデルについて解説していただき、『メサイヤ』よりハレルヤを混声合唱で歌い上げていただきました。

オペラ、

荒川静香さんがトリノオリンピックでフィギュアスケート金メダルを受賞した時の曲「トゥーランドット」も誰も寝てはならぬ、『椿姫』乾杯の歌はワイングラスを持って乾杯している振り付けで、オペラの歌をたっぷり堪能しました。



みんなで一緒に歌おう

「赤とんぼ」「紅葉」を会場の皆さんと一緒に歌って終演となりました。終始ブラボーの掛け声がかかり、大いに盛り上がりました。

広報部 新野久美子・山本 武史
 井上 昌之・名倉 康子



赤い羽根 共同募金
 一七、九六〇円
 ありがとうございました。



災害訓練
（機材の点検・使用方法）

九月二日(月)

今年の夏は、集中豪雨により各地で甚大な被害がありました。

七里地区においても倒木、落雷により長時間の停電がおきました。

地区社協では、災害に備えて普段から発電機の点検や機材の使用方法等について確認しています。

今回は、総務部と敬寿園七里ホームの皆様と共催で発電機の点検と投光器の使用方法について確認しました。



民生委員・児童委員協議会
国立武蔵野学院を訪ねて

九月六日(金)、民生委員・児童委員三十一名は、さいたま市緑区大門にある武蔵野学院を訪問しました。この学院は子ども家庭庁の児童自立支援のための児童福祉施設です。国立のものは、男子がここで、女子は昨年私達が研修で訪問した栃木県の国立きぬ川学院の二つです。

大正六年に男子対象の国立感化院として発足し、救護院となり、平成十年に武蔵野学院となりました。入所するのは、不良行為をなし、または、なす恐れのある児童、家庭環境上から生活指導を要する児童です。刑事処分の対象とならない十四歳未満かつ十八歳未満の非行を犯した少年が、家裁の決定で児相を経て入所し、昨年は三十四名が入所しています。卒所はだいたい一年半が目安です。

学院の特徴としては、
 ①緑豊かな開放的な場所
 ②小舎（寮）夫婦制という、世話をする夫婦と共に暮らして家庭的な育て直しが行われる所
 ③職員との関係性を重視
 などの支援があげられ、見沼田んぼ近くの三万坪以上の広大な敷地には六つの寮があり、子供もいる夫婦が共に生活して面倒を見えています。寮には四室あり、一室二名までで定員は八名です。少年達は寮で家庭的な生活を送りなが



原稿 望月 健次

ら、院内の学校に行き、時間割に沿った授業を受けます。美園中の分教室もあります。また、田んぼや畑で農作業をしたり、皆でスポーツをしたりします。私達が訪れた午後の暑い中、職員と共に田んぼの除草をし、仕事をしている院生を目にしました。また、寮の夫婦の子供たちが鍵のかかっていない門から下校する姿も見ました。鍵がかけてないだけでなく、嚴重なフェンスもありませんが、脱走する児童はいないそうです。

広大な自然豊かな素晴らしい環境と様々の施設の中で、職員の方々が児童に寄り添い、熱心に支援をされているとよくわかりました。そして子供たちが卒所後真っ直ぐな道を歩むことを願いながら学院を後にしました。

◇ お知らせ ◇ ※詳細は地区社協事務所まで

福祉教養講座「健康体操」

日時 一月二六日(日) 十時～十二時

場所 七里小学校 体育館

内容 正しいラジオ体操
元NHKテレビ・ラジオ体操指導者
多胡 肇 氏

子ども書き初め会

日時 十二月二十六日(木) 一部 九時三十分～ 十一時三十分

場所 七里公民館レクホール

内容 冬休みの課題
『書き初め』作品制作
小三～中三まで
書き初め用道具一式
新聞紙、用紙、上履き

ふれあいコンサート

日時 十二月八日(日) 十三時～十五時三十分

場所 七里コミュニティセンター 多目的ホール

内容 マンドリン演奏と解説
「年末の一時を過ごす名曲の数々とともに」

出演者 東京マンドリン宮田楽団

※参加希望者は往復八ガキで申し込みしてください。

さいたま市社会福祉協議会 賛助会員加入のお願い

賛助会費は、地域福祉活動を進めていく上で最も重要な財源となっております。一人でも多くの方に活動の趣旨をご理解いただき、ご協力いただきますようお願いいたします。

ご協力いただける方は、地区社協事務所へご連絡ください。

車椅子貸し出し

一時的に車椅子が必要とされる方に介護用・自走用車椅子の貸し出しを行っています。

ご利用になりたい方は、地区社協事務所にお問い合わせください。



自治会サロン事業への助成

七里地区社協では、自治会が主体となり、情報交換や見守りの一助となる活動に対して、経費の一部を補助しています。

自治会住民が気軽に集まり、交流を深める場を立ち上げてくださいます。詳しくは、地区社協事務所にお問い合わせください。

令和六年度 さいたま市社会福祉協議会 特別賛助会員

株式会社タムロン 10万円

埼玉東部ヤクルト販売(株) 10万円

株式会社七里ハウジング 10万円


株式会社マツザワ 10万円

団体賛助会員 10万円 五千円

七里地区民生委員協議会 30万円

敬寿園七里ホーム 20万円

ご協力ありがとうございました



赤い羽根・歳末助け合い 共同募金協力をお願い

十月二日から全国一斉に赤い羽根共同募金運動が実施されました。

昭和二十三年に始まり、今年で七七回目の運動となります。

『つながりをたやさない社会づくり』をテーマに、アフターコロナや災害等で浮かび上がった社会課題の解決を目的とする事業に積極的に支援します。

皆様のあたたかいご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。



七里地区社協事務所 (敬寿園七里ホーム内)

七里地区社会福祉協議会 事務所

開設日時 月曜日～金曜日 午後二時～六時まで (祝日及び年末年始は除く)

住所 見沼区大谷二〇三二一 敬寿園七里ホーム内

TEL/FAX 六八七一九九九七

編集後記

七里地区の皆様、地区社協の活動を知っていただき、より良い情報をより見やすくお届けしようとして、広報紙「いなほ」を発行しています。今後も、様々な事業を予定していますので、多くの皆様に参加していただき、ご意見をお聞かせください。

今後とも皆様のご指導・ご支援・ご協力をお願いいたします。

地域福祉コーディネーター 人員

HPQRコードを登録し、HPもご覧ください。



SIAA 無機抗菌剤・印刷 本体 抗菌加工 JP0122546A0001W

ISO 22196 SIAAマークはISO22196法により評価された結果に基づき、抗菌製品技術協議会ガイドラインで品質管理・情報公開された製品に表示されています。